

# 会報

No. 118

令和3(2021).3.2

## 加西市立図書館50周年、そして120周年ともうすぐ20周年

加西市立図書館 館長 ふじかわ たかひろ 藤川 貴博

加西市は、1967年4月1日に、旧加西郡の北条町、泉町、加西町の3町が合併し、県内21番目の市制を施行しました。それに伴い、加西市立図書館は1970年4月に開館し、2020年で50周年となりました。

この記念すべき2020年は、実はもう一つの記念すべき年にも重なります。それは、加西市立図書館の前身、加西郡立図書館の設立から120周年となることです。

### ■加西郡立図書館120周年

加西郡立図書館は1900年に当時の嘉仁皇太子(大正天皇)の婚礼記念として設立されました。1912年になると、各町村を回って図書を配布する巡回文庫事業も行われ、加西郡誌によれば「郡民文化の向上に大いに活用していた」とあり、さらに蔵書については「その大部分は横田文庫の書籍だった」と記録されています。横田文庫とは、加西郡出身者として初の衆議院議員となった横田孝史氏が私財を出して集め、1916年ごろに寄贈した約4,500冊をいいます。横田氏の寄付をうけて、図書館の蔵書数と閲覧者は一層増えたとのこと。

### ■加西市立図書館50周年

1967年4月の加西市誕生後、1970年4月に北条中学校の旧校舎を利用して加西市立図書館が開館しました。1980年6月には大規模住宅地開発(加西ハイツ)の一角に新築移転、前年に3人目の名誉市民となった増田義雄氏の寄付と国からの補助金などを加えて総工費6,100万円で建設されました。鉄骨平屋建て約621平方メートルの建物には、ホール、開架閲覧室などのほか、児童室、新聞雑誌コーナーなどがあり、読書を愛する市民に長く利用されることになりました。当時の蔵書は現在でもその基礎となっています。

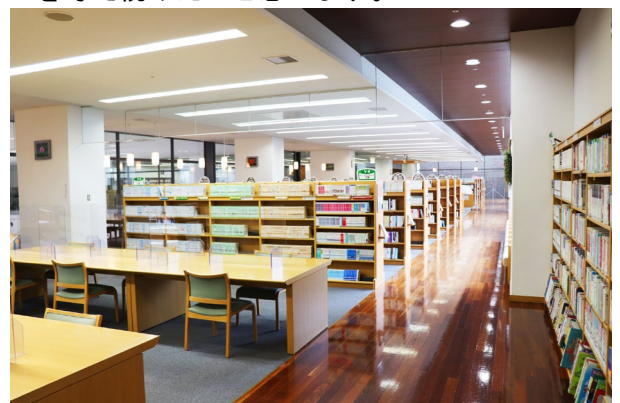
### ■移転からもうすぐ20周年

2003年3月、市街地再開発ビル「アスティアかさい」内の3・4階に移転開館しました。3階は情報機能ゾーンとしての「動」の空間、4階は図書館としての「静」の空間の2つのフロアからなります。3階

には、新聞・雑誌・AVコーナー、キッズコーナー、4階にはテラスや展望読書コーナーなどの癒しのスペースを設け、特集展示やテーマ別の排架など落ち着いた雰囲気の中で目的に応じた利用ができるよう配慮し、ゆっくりくつろげる図書館として市民に親しまれています。年間来館者数は約21万人で、蔵書約22万5千冊に加え多数のAV資料を持ち、おはなし会をはじめ、音楽会や映画上映会などイベントが充実しています。オープンから18年が経過しましたが、利用者からは「蔵書も多く、整理が行き届いた美しい図書館」との評価をいただき、日本図書館協会の図書館年鑑2020の統計では、市区町村立図書館の館外個人貸出冊数、人口5万未満の市区で全国5位となりました。

本来ならば50周年・120周年を記念すべき2020年、世界は新型コロナウイルス感染症による未曾有の事態となり、4月7日には新型インフルエンザ等特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令されました。全国のほとんどの図書館が要請に基づき休館する中、加西市立図書館は感染症対策を十分実施のうえ開館を続けました。その間、来館者は半減したものの、貸出冊数は前年を超え、利用者からは「開けてくれてありがとう」との声を多数いただき、図書館は必要とされていると実感しました。

情報や知識の集積地である図書館は、文化そのものです。文化は不要不急ではありませんので、我々は経済活動の継続とともに文化活動を継続させるための知恵をもたなければなりません。加西市立図書館は、移転開館してからもうすぐ20周年を迎えます。これからも図書館活動の維持・継続をどうやって可能とするのかを考え続けたいと思います。



## 神戸市立西図書館は開館50年を迎えました

神戸市立中央図書館 総務課

むらい ひるゆき  
村井 博之

利用サービス課

おくら さつき  
小倉 さつき

神戸市立西図書館は、今から50年前の昭和45年10月に、西神分室として垂水区伊川谷町（現在は西区）の西神文化センター4階の一角に誕生しました。専有面積125㎡、オープン時の蔵書数約2,600冊の小さな図書館でした。規模は小さいながらも、一般教養書の他に、農業や児童図書に重点を置いた選書に特色を持っていました。（昭和57年に西図書館に名称変更）



それから19年後の平成元年4月、めざましい勢いで開発が進む西神ニュータウン内に新設された西区民センター1階に、移転オープンしました。専有面積703㎡、開館時の蔵書数約31,000冊と、規模は決して大きくはありませんでしたが、同時期に開館した灘図書館とともに、地域図書館として初めてコンピューターを導入、中央図書館とネットワークでつながり、本の検索も簡単にできるようになりました。

周辺のだのかな農村部のイメージとは大きく異なり、市営地下鉄西神中央駅を中心とした地域はインフラ整備が急激に進み、あわせて人口も右肩上がりに増加していました。市内の他地域や他都市から移り住んできた新しい住人たちには、小さな子供をもつ若い世帯が多く、図書館は一日中子どもたちの熱気でいっぱいでした。開館1か月の統計では、児童書の貸出冊数が全体の57%を占めたことから、その様子が窺えます。若い住人たちは、図書館の利用に慣れている方が多く、予約や相互貸借などのサービスを上手に活用されていました。満足や感謝の声を聞く一方、要望や不満の声もでてきました。「狭くて本が少ない。もっと本を増やして欲しい」。図書館への期待が大きい分、増え続ける利用者に対応するには物足りないと感じられたようです。

平成7年の阪神淡路大震災では西区は比較的被害が少ないため、図書館の再開を待ち望む声も多く、この年度の貸出冊数は、市内の全図書館で最も多くなりま

した。それ以後、貸出冊数については市内の図書館の中で最も多い数字となり、平成25年に東灘図書館が住吉地区に移転開館するまで、その位置は変わりませんでした。

現在蔵書冊数は、10万冊を超えるほどになりました。また特に土曜日や日曜日の午後は、あいかわらず各窓口に長蛇の列ができています。



西図書館は平成20年より、指定管理者制度を導入し、民間事業者が運営を担っており、中央図書館は、民間事業者を管理指導しています。

令和元年神戸市は人口減少対策として、「リノベーション・神戸」を打ち出しました。その事業の一環として、かねてからの区民ホールや図書館への要望等を踏まえて、500席規模の文化・芸術ホールと一体的に整備し、図書館の機能も拡充されることになりました。

令和3年2月頃に着工、令和4年9月頃のオープンを目指して作業を進めています。面積約3,000㎡（専有・共有含む）、収蔵可能冊数は約30万冊の市西部地域の拠点図書館となる予定です。

開館から50年を経て、新たな展開を迎える神戸市立西図書館を今後もよろしくお願ひします。



## 来フアリ～

図書館は楽しく遊びに行くところ！

福崎町立図書館 <sup>うしお</sup> 牛尾 かおり

福崎町立図書館は、令和2年7月に開館15周年を迎えました。15周年記念行事であんなことやこんなことをしたいと思いはせてきましたが、大きく予定変更をせざるを得ない状況になってしまいました。

私事ですが、開館10周年の時にもあれこれと行事等考えていたのに他部署へ異動により実現できずに終わってしまっていたため、今度こそは！と思っていたのですが今回も実現できず、「開館記念行事ができない職員」になってしまいました。

これまで他館の図書館日より等を参考におもしろそうな行事をまねさせていただいたり、職員の思い付きで行事を計画したりしてきました。3年前から続けている図書館おばけやしきは、口コミで多くの方に知っていただくことができ、この行事をきっかけに図書館に来て展示していた本を借りて読み、他にも読みたくなったと言っていただけでもありました。

本を読む習慣がない子でも何かのきっかけで図書館に来て、そこで偶然出会った本から読書の世界にはまってもらえるようになったらいいなと思いつつ、これからも楽しく遊びに来てもらえる場所づくりをしていこうと思います。

## 図書館プログラミング実習室

新温泉町立加藤文太郎記念図書館 <sup>まつおか かずたか</sup> 松岡 一孝

新温泉町立加藤文太郎記念図書館は、新田次郎の小説「孤高の人」のモデルにもなった戦前の登山家・加藤文太郎を顕彰して設立された図書館です。

昨年度より、毎月の定例行事として「図書館プログラミング実習室・ぶんちゃんラボ」を開催しています。講師も機材も図書館職員の手弁当。参加者の顔ぶれは「プログラミングってどんなもの？」という子どもから、自宅で実践を重ねている子どもまで様々です。機械学習(AI)の本を読む女の子もいます。

子ども向けプログラミングについて、都市部においては、書店で早くから多様な書籍が販売されたり、家電量販店で体験教室が行われるなどしていました。それらを見た大人たちは、子ども向けプログラミングというトレンドがあることを認識するでしょう。ところが、わが町には家電量販店はおろか書店すらありません。そのようなトレンドを知る場所がないのです。

人口減社会において、都市部のトレンドに僻地が取り残されないよう手段を講じる役割が、これからの公立図書館にはますます求められることでしょう。

児童書のコーナーにプログラミングの本はありますか。本を片手にパソコンに向かってみてはいかがでしょうか。

## 第1回研究集会報告

テーマ：「笑声」でコミュニケーション

～好感度・信頼度UPのために～

開催日：令和2(2020)年12月11日(金)

14時00分～16時00分

会場：兵庫県立図書館 第2研修室

講師：水野 かおり 氏(フリーアナウンサー  
アナウンス・プランナー代表)

新型コロナウイルス感染予防対策のためのマスクや仕切り版(カーテン)は、利用者とのコミュニケーションを取りづらくしていませんか。

今回の研究集会では、マスクをしていてもニコリ笑顔が見える『笑声(えごえ)』の出し方を教えていただきました。

『笑声』を出すために必要なことは3つあります。まずマスクの下は常にハリウッドスマイル。そして、優しい目線で相手をやわらかく見ます。次に、おもてなしの心を挨拶に込めます。挨拶は「この人の話なら聞いてみたい」と思わせるコミュニケーションの第1歩です。

けれども、更に大切なのは「声」なのです。聞いてもらえる「声」を出すために、皆で発声練習です。腹式呼吸、ロングトーン、母音の口の形を意識しながらの発声。滑舌には早口言葉です。ゆっくり話していても、サ行ハ行は出しにくい音なので、母音をしっかり発声する事を教えていただきました。

「笑顔」と「声」が整うと次は、話し方をレベルアップさせていきました。大切な事を話す時、例えば名前、固有名詞、数字等は、相手を書きとめられるスピードで話すこと。相手が聞き取れる間を取ることで、美しい丁寧な言葉を使うことで、さらに、コミュニケーション力が向上していきます。講義開始から約1時間、次は、各自修得した技術を使つての演習です。二人一組で二分間「好きな食べ物」をテーマに話のキャッチボールをしました。ここで、「聞く」「聴く」「訊く」を体験し、皆さんの「わかる」が「できる」に変化しました。

不安や心配が多い時だからこそ、コミュニケーションの力を最大限活かし、より良いサービスに繋げましょう。(小野市立図書館 和田 真由)

・神戸市立図書館

電子図書館の児童向けコンテンツ300タイトル追加(3/3)／市立全児童館・学童保育コーナーへ1600冊絵本譲渡(3/3)／電子図書館試行実施終了延期(～12/31)／予約図書自動受取機及び返却ポストの設置(市営地下鉄三宮・花時計前駅)(6/30)／神戸市民による西宮市立図書館の利用開始(4/1)／返却ポストの設置(神戸電鉄鈴蘭台駅)(10/14)／新垂水図書館基本方針(案)についての市民意見募集(11/6～12/6)／新長田図書館25周年記念行事 西中賢治氏講演会(12/5)

・尼崎市立図書館

開館100周年記念講演会(1/25)／開館100周年記念式典(2/2)

・西宮市立図書館

西宮市立図書館条例施行規則を改正(神戸市民の利用開始)(4/1)／市内計4カ所に図書返却ポストを設置(4/1,6/1)

・芦屋市立図書館

国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始(6/23)

・宝塚市立図書館

西谷地区に「ふれ愛ライブラリー」を開設(8/9)／小浜・安倉分室を開設(10/3)

・川西市立図書館

コンピュータシステムを「NECネクサソリューションズ LiCS-Re for SaaS」に更新、クラウドに変更(3/1)／川西市電子図書館を開始(8/1)

・三田市立図書館

30周年記念行事(30年のあゆみ展示、ボランティア活動展示、お祝いメッセージ募集、よみくじおみくじ)(11月)

・猪名川町立図書館

図書除菌機の設置(7/14)

・加古川市立図書館

図書館システム更新・ホームページ更新(11/2)

・西脇市立図書館

蔵書システムクラウド化(10/1)／マイナンバーカードによる資料貸出開始(11/1)

・三木市立図書館

図書館システムの更新(9/23～30)

・加西市立図書館

図書館空調設備改修工事(10/1～11/30)

・加東市立図書館

中央図書館：高圧受変電設備更新工事(11/9～12/7)、外壁改修工事(11/30～2/26)／滝野図書館：照明LED更新工事(12/21～1/22)

・多可町立図書館

開館15周年記念事業 富安陽子講演会(2/2)

・姫路市立図書館

城内図書館の設備改修工事のため長期休館(11/1～)／姫路市子ども読書活動推進計画第4次の策定について、策定懇話会を立上げ検討会議を開催(7/31,9/3)

・赤穂市立図書館

関西福祉大学図書館との共同企画展示(6/19～8/30)

／認知症関連図書展示(地域の輪)(9/5～11/1)／赤穂義士・忠臣蔵関連図書展示(11/7～12/27)／非接触型体温計導入(10月)／検温用サーモグラフィー導入(11月)／図書除菌機導入(12月)

・上郡町立図書館

ぜび、絵本の原画をみてください！展開催 第1回 アキノイサム絵本原画展(8/1～11)／第2回 大畑いくの絵本原画展(8/20～30)／第3回 スズキコージ絵本原画展(9/18～29)／第4回 野坂勇作絵本原画展(10/9～22)／第5回 アキノイサム絵本原画展(11/12～24)／ブックポストの運用開始(11/1～)

・いちかわ図書館

空調等改修工事のため長期休館(11/1～3/31)

・福崎町立図書館

図書消毒機導入(7/21)

・太子町立図書館

図書返却ポスト設置(8/24～)／コンピュータの更新(10/1～)

・佐用町立図書館

図書館システム更新、ホームページのリニューアル(9/28～30)／読書講演会「山本一力」(播磨科学公園都市圏域定住自立圏事業)(12/13)

・豊岡市立図書館

分館の図書館公衆無線LANサービスの開始(日高・出石 2/19～、竹野・但東 3/25～、城崎 4/1～)

・新温泉町立加藤文太郎記念図書館

因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏事業による1市6町の連携貸出開始(4/1～)／JR浜坂駅内にリサイクル図書で運営する図書コーナー「みんなの文ちゃん文庫」開設(11/28)

・朝来市和田山図書館

朝来市に隣接する5市2町への広域貸出開始(1/4)／貸出冊数改定(無制限→10冊)(1/4)／豊岡市立図書館と「図書館相互利用に関する覚書」締結(4/1)／図書消毒機設置(9/26)

・丹波市立図書館

「3市図書館合同展示 戦国を生きた武将たち」開催(NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放映に合わせた、3市(丹波市・朝来市・福知山市)連携事業)(～1/26)

・淡路市立図書館

新津名図書館起工式(1/15)

・ひょうご労働図書館

開設20周年記念事業 木の葉しおり進呈(7/28～)、労働問題講演会(第1回10/12,第2回12/21)、古本リサイクル・フェア(11/18～20)

内容については、「図書館年鑑2021年」編集に係る各加盟館からの情報提供を一部抜粋しました。

兵庫県図書館協会会報 No.118

令和3(2021)年3月2日発行

編集・発行：兵庫県図書館協会

〒673-8533 明石市明石公園1-27

兵庫県立図書館内

Tel 078-918-3366 Fax 078-918-2500